



アクシアル リテイリング株式会社
新潟県長岡市中興野18番地2 〒954-0193
Tel.(0258)66-6711 Fax.(0258)66-6727
<https://www.axial-r.com/>

【対象期間】2022年度(2022年4月～2023年3月)※ 【対象範囲】アクシアル リテイリンググループ企業 【発行日】2023年6月
【参考ガイドライン】GRIサステナビリティ・レポーティング・スタンダード2016、環境省「環境報告ガイドライン(2018年版)」
【お問い合わせ先】原信ナルスオペレーションサービス株式会社 CSR・広報部 環境CSR室
【TEL】0258-87-0440 【FAX】0258-66-8663 【URL】<https://www.axial-r.com/contact/>
※一部に対象年度以外のものを含む場合があります。

発行者：アクシアル リテイリング株式会社 印刷：高速印刷株式会社

Axial
RETAILING

Good Life,
Good Tomorrow

アクシアル リテイリング株式会社

CSR REPORT 2023

目次

会社概要 1

アクシアル ポリシー/営業概要 3

トップメッセージ 4

アクシアル リテイリングのあゆみ 5

グループビジョン 7

Axial × SDGs 8

お買い物と食卓をもっと楽しく 9

食で笑顔に 11

食で支援を 11

健康維持のために 13

未来を変える人を育む 15

男女ともに家庭と仕事のバランスを 17

ダイバーシティの推進 19

現場改善のしくみ、地方産品を広める 21

よりお買い物しやすいお店に 22

お買物をより便利に楽しく 23

エネルギーを効率的に、クリーンに 25

気温上昇を抑える 26

ムダなプラスチックを減らす 27

豊かな森林資源を未来へ 28

食品ロス減らす 29

環境会計 30

事業活動と環境影響 31

信頼の構築と平和な社会 33

みんなでゴールを目指そう 34

編集方針

アクシアル リテイリングは、より多くの皆様から当社をご理解いただくため「CSRレポート」を毎年発行しています。本レポートは、主にSM(スーパーマーケット)事業を中心としたグループ各社の主な活動結果及び進捗を報告しています。今年度はSDGs※のゴールごとに目指す姿とその取り組み進捗を掲載しました。

※SDGsとは、2015年に国連および日本政府が採択した先進国を含む国際社会全体の2030年に向けた環境・経済・社会についてのゴールです。

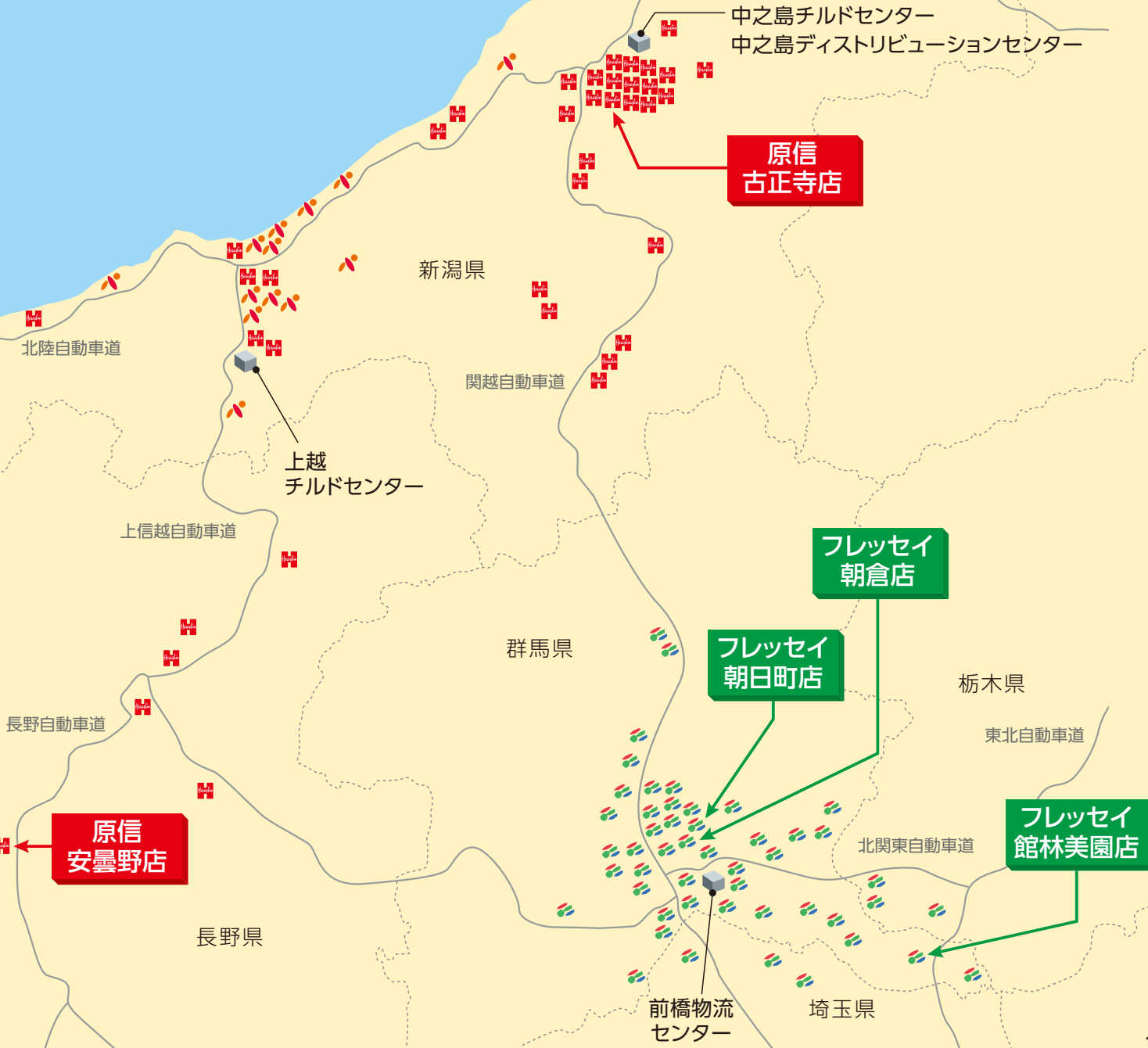
会社概要

社名	アクシアル リテイリング株式会社
本部所在地	新潟県長岡市中興野18番地2
設立	1967年8月
資本金	31億5,971万円
事業内容	スーパーマーケット事業を中心とした企業集団の持株会社
HPアドレス	https://www.axial-r.com/
グループ企業	株式会社原信／株式会社ナルス／株式会社フレッセイ 原信ナルスオペレーションサービス株式会社 アクシアル レーベル株式会社／株式会社ローリー 株式会社原興産／株式会社アイテック／高速印刷株式会社 力丸流通サービス株式会社／高翔商事株式会社



129
店舗

※2023年3月末現在



アクシアル ポリシー

アクシアル リテイリング グループ経営理念

我々は毎日の生活に必要な品を廉価で販売し、
より豊かな文化生活の実現に寄与することを目的とする。

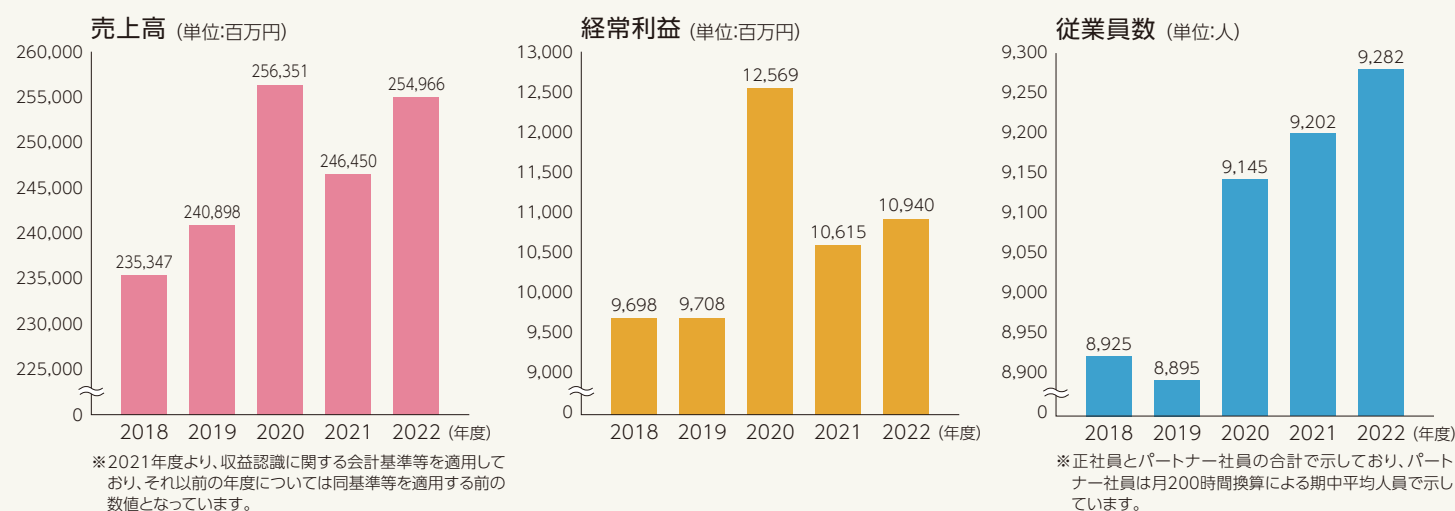
経営原則

1. 高潔な企業風土をめざします。
2. TQMを経営の根幹にします。
3. 基本を徹底します。
4. マスメリットを追求します。
5. 持続可能な社会の実現に貢献します。

行動指針

1. 「判断の基準はお客様」です。
2. 安全を最優先します。
3. 全体最適で発想します。
4. 自己育成に努めます。
5. 人間性を尊重します。
6. チームワークを大切にします。
7. コミュニケーションを円滑にします。

営業概要



Top message

アクシアル リテイリング設立10周年 グループ一体経営の更なる強化

アクシアル リテイリング株式会社
代表取締役社長・CEO

原 和彦



この度、弊社第23版となる「CSRレポート2023」を発行いたしました。皆様からのご理解、ご支援を引き続き賜りますよう心よりお願い申し上げます。

過去約3年間私たちを悩ませ続けてきた新型コロナ感染対策は新たな段階に移り、新しい生活様式を模索するステージに入りました。日常生活の中では物価の値上がりが続き、至る所に影響を及ぼしています。更に、ロシアによるウクライナ侵攻が続いており、地政学リスクは高まり続けている状況です。自然環境への対応も一刻の猶予はありません。このように私たちを取り巻く環境は様々な面で不透明・不安定・不確実な状況となっています。このような状況の中であっても、私たち食品スーパーマーケットとしては、お客様に安心してお買い物をしていただけるよう、一つ一つの課題に向き合っておりまいます。

一方で、事業環境が複雑化しようとも、食品スーパーとして目指すビジョンは変わらないと考えています。アクシアル リテイリンググループとしての一体感を強め、マスメリットを生み出し、より良い商品をより廉価で提供すること、これが私たちの目指す姿です。そのために、グループビジョンとして「Enjoy! Axial Session ♪」を掲げておりますが、複雑な事業環境の中で確実にグループビジョンを実現するためには、更に一体感を強めることが必要であると考え、この度原信・ナルス・フレッセイで大幅な機構改革を行いました。アクシアル リテイリングの設立から10年が経過しますが、その設立当初の原点に立ち返り、マスメリットを創出し、豊かさ・楽しさ・便利さを提供する為に、新たな経営体制で更なるシナジー効果の創出に取り組んでまいります。

新経営体制となっても、グループビジョンで掲げた「品質経営・環境経営・健康経営・技術革新への対応、

人づくり」という基本政策を引き続き追求し、お客様に新たな価値を提供してまいります。

その一つの取り組みとして、新たな商品ブランド「Hana-well」を立ち上げました。これは社会課題への対応と事業活動が一体となることを目指し、お客様が「Hana-well」商品をお買い上げになると、そのこと自体で何かしら社会課題への対応に参加することにつながるような、エシカル（倫理的）な取り組みとして立ち上げたブランドです。品揃えは始まったばかりで、取り扱い店舗もこれから拡大してまいります。この新たな商品を大切に育ててまいりたいと考えています。

また、「環境経営」については、2023年の春より、新潟スワンエナジー株式会社様と提携し、太陽光PPA（電力販売契約事業）モデルの取り組みを開始しました。これは新潟スワンエナジー様が太陽光発電パネルを当社店舗に設置し、発電された電力は同店舗で買い取り、余剰電力は新潟スワンエナジー様が新潟市の公共施設に売電するという事業モデルです。雪国では難しいと考えられてきた太陽光発電事業ですが、持続可能な社会に向けての再生可能エネルギーの活用、公共施設と連携した地域貢献、電気料金が高騰する中での収益改善と、様々な方面で意義のある取り組みと考えております。

なお昨年度、長野県に中信地区で初となる原信安曇野店を新設したほか、フレッセイ朝日町店、フレッセイ朝倉店の新設、原信古正寺店、フレッセイ館林美園店の建て替えを行い、お客様から大変ご好評をいただきました。

今後もライフラインとしての役割を果たすべく地域に密着し、持続可能な社会の実現に貢献し、地域のお客様の暮らしが少しでも良くなるよう取り組んでまいります。

アクシアル リテイリングのあゆみ

[illegible]

経営理念の実現に向かう具体的な方向性を示すため、グループビジョンを定めています。

アクシアル リテイリング グループビジョン



グループ各社や個々人が自律的に技量を磨き、全体では調和のとれた活動を行うことで、今まで以上のマスメリットを創出し、お客様に新たな価値をご提供します。

①品質経営

TQM活動の推進により、商品・サービスとそれを支える仕組みの「品質」を向上させ、お客様・地域・社会からより信頼される企業を目指します。

②環境経営

事業活動を通じて環境課題の解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献します。

③健康経営

健康的なライフスタイルを実現できる商品・サービスの提供を通じて、お客様の健康づくりをサポートします。
従業員の健康増進と働きやすい職場づくりを推進し、長く安心して働ける環境を実現します。

④技術革新への対応

日々進歩する様々な技術の活用にも果敢に挑戦し、生産性とお客様の利便性を飛躍的に向上させます。

⑤人づくり

自らチャレンジし、変革を起こせるイノベティブな人材を育成します。
人材育成を通じて地域・社会の発展に貢献します。

地域社会のインフラとして、私たちスーパーマーケットが持続可能な社会実現のためにできること

2030年をターゲットとしたグループビジョンの5つの基本政策をもとに、重点課題を分類しました。
アクシアル リテイリングは、これからもSDGsを起点に社会課題の解決に努めていきます。



基本政策	重点課題	対応するSDGs	主な取り組み
①品質経営	新たな価値の創造と組織能力の向上	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 7 エネルギーとみんなにそしてクリーンに 8 働きがいも経済成長も 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナシップで目標を達成しよう	●TQM ●おいしいわけ商品 ●アクシアルPB商品 ●セントラルマーケット ●エクスペリエンスマーケット ●フレッセイMD2.0の展開
②環境経営	サステナブル社会への貢献	7 エネルギーとみんなにそしてクリーンに 9 産業と資源効率の改善をこころう 12 つくる責任 13 気候変動に具体的な対策を 14 海の豊かさを守ろう 15 陸の豊かさも守ろう 17 パートナシップで目標を達成しよう	●Hana-well ●食品廃棄物の発生抑制とリサイクル ●プラスチック製容器包装の削減とリサイクル ●再生可能エネルギーの活用 ●物流エネルギーの効率化
③健康経営	お客様と従業員のヘルシーライフサポート	1 貧困をなくそう 2 飢餓をゼロに 3 すべての人に健康と福祉を 5 ジェンダー平等を実現しよう 10 人や国の不平等をなくそう 17 パートナシップで目標を達成しよう	●健康軸商品 うおさいや [だし香るシリーズ、魚菜屋、365×3 salad life] ●健康経営方針制定 ●にいがた健康経営推進企業の認定 ●有給休暇の取得しやすい環境
④技術革新	デジタル技術の活用	7 エネルギーとみんなにそしてクリーンに 9 産業と資源効率の改善をこころう 17 パートナシップで目標を達成しよう	●ネットスーパーの展開 ●原信ナルスアプリ ●フレッセイアプリ ●クイックコマース[即配]への対応 ●自動発注の導入
⑤人づくり	自力で完遂できる人材	2 飢餓をゼロに 4 質の高い教育をみんなに 5 ジェンダー平等を実現しよう 8 働きがいも経済成長も 10 人や国の不平等をなくそう 11 住み続けられるまちづくりを 16 平和と公正をすべての人に 17 パートナシップで目標を達成しよう	●成功事例、改善事例 ●アシスタントチーフ制度 ●各種社内・社外研修 ●食を育む教育支援 ●地域の発展に貢献できる活動



お買い物と食卓をもっと楽しく

■ニューコンセプトⅡ+ ツープラス

原信とナルスでは、お客様の環境変化に合わせて2010年から「ニューコンセプトⅡ」として①新しい商品展開②あかぬけた売場③生産性の向上のテーマを設けたお店づくりを開始し、2015年からは更なる「豊かさ・楽しさ・便利さ」をご提供する「ニューコンセプトⅡ+」の展開を推進しています。

食生活の多様化に合わせたサラダ提案の充実や、健康ニーズに沿った魚惣菜の提案など、食卓をイメージしやすいように食シーンに合わせた商品づくりと売場づくりに取り組んでいます。



■セントラルマーケット

セントラルマーケットは広い売場面積と駐車場と深い商圏をもつことを条件に、①専門性②ライブ感③情報発信のコンセプトで幅広いお客様からご利用いただけるように商品と提案を磨きあげたお店です。現在、原信川崎店（長岡市）、原信河渡店（新潟市）、原信小出東店（魚沼市）の3店舗があります。



■エクスプレスマーケット

人口減少による高齢化や有職率の増加という環境変化にあわせ、即食・簡便ニーズに対応した商品を品揃えし、短時間でお買い物ができるお店です。現在、原信城岡店と原信旭岡店（いずれも長岡市）の2店舗があります。



■フレッセイMD※2.0

フレッセイでは、①美味しさ②健康生活③簡単・便利④ローカルのテーマを軸とした「フレッセイMD 2.0」の展開を進めています。その中で特に強化しているのが魚惣菜です。圧倒的な品揃え、素材のこだわりで差別化を図っています。また、群馬名物の『みそパン』や『焼きまんじゅう』は当社の名物商品になっています。



みそパン

焼きまんじゅう

※MD(マーチャンダイジング)：お客様にご購入いただける商品の企画・開発や調達、商品構成の決定、販売方法などを戦略的に行うこと。

■エシカルMD～Hana-well～

原信とナルスでは「おいしいこと」を前提に、①環境②健康③地域④人⑤未来の5つの軸を中心とした商品を企画し販売します。Well-being（身体的、精神的、社会的幸福）な世の中になるように私たちも商品販売を通じて貢献していきたいと考えています。これらの商品群は「Hana-well」というブランドで2023年4月より一部店舗で販売を開始しました。

お客様から取り組みの意義や意味、ブランドコンセプトに共感していただき、日常生活に浸透していけるよう、取り組んでまいります。

おいしさと、やさしさを。



ロゴマークデザイン
アーティスト
CotoCoto
田中 翠恵

「おいしさ」に加え、体と心と地球に「やさしく」
おいしいから使い続けられるブランド
それが「Hana-well（ハナウェル）」です。

私たちは「おいしさ」を第一にとらえ、追求していくことで
それを作り上げる素材の良さや意義の大切さに気づきました。

世界が数多くの問題を抱えている今、
私たちが始めることで小さなことが大きな力になり、
今と未来を変えていく
私たちは、そう信じています。

まるで花が咲いたような笑顔を、そして幸せを
「今」と「未来」に花が咲くように
「幸せの花」を植えていきませんか。

「おいしさと、やさしさを。」
Hana-well



<https://www.harashinnarus.jp/hanawell>



Hana-well商品の売場(原信 紫竹山店)



開発した商品のパッケージデザインには「まちごと美術館 CotoCoto」様よりご協力をいただきました。障がいのあるアーティスト作家様の作品をデザインに採用しています。



食で笑顔に

私たちは、社会的・経済的な困窮により生活が安定しないご家庭に廉価で品質の良い商品を提供することで、食を通じて貧困という課題を解決していきます。

フードバンク活動支援

様々な理由で生活に困窮し満足に食事を食べることができない人がいます。そのような方々を支援するために、原信では原信労働組合とともに、食のセーフティネットを支えるフードバンクながおか様に会員企業として協賛しています。



原信労働組合のフードドライブ活動

アクシアル プライベート商品の開発

安全安心な品質、ご納得いただける味、よりお求めやすい価格でのご提供を目指し、お客様の声を活かした商品企画・開発を進めています。



バウムクーヘン屋さんのバウムクーヘン



国産小麦と卵のカステラ



ラーメン(各種)



食で支援を

私たちは、子育て支援や高齢者支援を通じて、あらゆるご家庭に栄養のある食事をご提供し、栄養不良の改善に取り組めます。

「みんな食堂」のお手伝い

孤食を防ぐ取り組みとして「みんな食堂」の活動が地域で広がっています。原信では店舗で不要となる食材をご提供させていただいています。(原信 城岡店・宮内店・花園店・旭岡店・美沢店・寺島店・関原店・七日町店・見附店の9店舗)



みんな食堂

食を育む教育支援

「子どもが作る『弁当の日』」や「家庭で子どもに手伝いをさせよう運動」の活動を応援しています。活動の一環として、地域の小学校と連携して料理教室や魚の下ごしらえ教室を実施しています。

今後も調理を通じて「食の大切さ」「感謝の心」を醸成することで、地域貢献のお手伝いと食育の取り組みを推進してまいります。



料理教室



料理教室



魚の下ごしらえ教室

シニアのお客様へのサービス

アクシアル リテイリングでは、65歳以上のお客様へ特典サービスを行っています。

原信は、毎週木曜日と年金支給日にお買上げ金額から5%引きをする「いきいきシルバースデー」、ナルスでは、年金支給日に「シニア会員ポイント5倍デー」を行っています。

フレッセイの群馬県内10店舗では、毎週火曜日に「ぐーちょきパスポート5%引きの日」、栃木県内3店舗では、毎週火曜日にお買上げ金額から5%引きをする「いきいきシニアデー」を開催しています。



「おいしいわけ」の商品開発

「おいしく」仕入れ、「おいしく」作り、「おいしく」伝える
当社が独自に開発し、自信を持ってお客様におすすめする商品です。
「おいしさ」を究めたその商品には、「おいしいわけ」があります。



釜炊きあんこの手造りおはぎ



特選握り寿司



備長炭で炙ったうまだれ炭火焼鳥



健康維持のために

私たちは、お客様に対しては健康ニーズに沿った食の提案を続けると同時に、従業員に対して、健康をサポートしながら健全な労働環境を整えることに取り組んでいます。

健康ニーズに対応した商品開発

私たちは、お客様に対しより健康的でおいしい商品を揃えています。



だして塩味をおさえ、うまみを引き出しました。おいしく、塩分を抑えたシリーズが増えています。



「健康によい魚をお惣菜で。」旬の魚介を店内調理でご提供。



「食卓に、もっと野菜を。」365日朝昼晩にサラダのご提案。

「からだがよろこぶデリ」の販売

原信とナルスでは、新潟県が推進している健康づくり県民運動「健康立県プロモーション事業」の一つのテーマである「食生活」の取り組みとして、「からだがよろこぶデリ」を新潟県内店舗で販売しています。2021年10月から新潟県独自の「おいしくてからだよろこぶ」基準を満たしたお弁当2品が新たに「からだがよろこぶデリ」のお弁当として登録されています。



販売しているお弁当

健康経営方針の制定

原信とナルスでは従業員が健康であって始めて、地域のお客様の健康的な食生活を支えることができるとの考えのもと、「健康経営方針」を制定しています。地域のお客様への健康貢献、自発的な行動を重視したところの健康づくりに取り組むと宣言しています。

健康経営方針について



<https://www.harashinnarus.jp/company/health/>

「にいがたケンジュプロジェクト」協賛

原信とナルスでは、BSN新潟放送様が推進している、健康寿命延伸キャンペーン「にいがたケンジュプロジェクト」に協賛しています。食の分野から健康をサポートするオリジナルブランド「だし香る」シリーズのCM放映など、さまざまな発信を推進しています。



新潟県、BSN新潟放送との記者会見

ウォーキングデー

お客様の健康を「食事」の面だけでなく、「運動」についてもサポートしています。原信とナルスでは、より健康的な暮らしに寄与することを目的に、「原信・ナルスウォーキングデー」を開催しています。



原信・ナルスウォーキングデー

「にいがた健康経営推進企業」認定

原信とナルスでは、2019年度より「にいがた健康経営推進企業」に登録し、従業員が健康でいきいきと働くことができるよう、食事や栄養、健康について保健師に相談できる健康相談ダイヤルの開設などを行っています。



「にいがた健康経営推進企業」登録証

健康診断での保健師指導

「健康経営方針」の取り組みのひとつとして、従業員一人ひとりの健康の維持・増進という視点から、健康診断にあわせて健康保険組合の保健師による健康相談を実施しました。健康アドバイスを通じて生活習慣を見直し、健康的な生活を送ることができるようにアプローチをしています。



未来を変える人を育む

私たちは、「米百俵の精神※」を受け継ぎ、社外の皆様と協力しながら、多く子どもたちに学校の枠組みを超えた教育の機会を提供することで、これからの社会づくりの担い手を育むことに取り組んでいます。

※米百俵の精神：戊辰戦争に敗れ焼け野原となった長岡に、三根山藩からの送られてきた米百俵。小林虎三郎はこの米を資金に国漢学校を設立し、多くの人材を育て上げたという史実の精神が長岡市の人材教育の理念となっています。

■ インターンシップ (SDGs教育、商品開発、実務訓練)

アクシアル リテイリングでは、仕事の実体験を通して企業活動の内容や社会的役割を知っていただく機会として、インターンシップの受け入れを行っています。プログラムも複数用意し、店舗でのマネジメント業務の体験、商品開発や、プレゼンなども体験することができます。

原信とナルスでは昨年、学生のニーズが年々高まっているSDGsに関する講義や演習も新たに導入し、当社の取り組みを紹介するだけでなく、学生の視点から新たなエシカル商品を検討する機会を設けました。また、本部従業員の一人として3か月という長期の実務訓練生の受け入れを行いました。



実務訓練

■ コラボラトリー

「米百俵の精神」で育まれた長岡の公立大学である長岡造形大学様と原信がコラボレーションし、同学の学生様の作品を公募、優秀作品を原信店舗のカフェコーナーで展示する企画「コラボラトリー」が2022年10月から始まりました。67名75作品の応募があり、デザイナーや学芸員の審査員の皆様による審査の結果16名13作品の優秀賞が選ばれ、長岡市内の原信古正寺店・寺島店・宮関店のカフェコーナーで展示を行っています。



展示状況

優秀賞受賞作品の一例 ご紹介

長岡花火の3連作



祈りⅠ



祈りⅡ



祈りⅢ

平和への祈りがテーマの長岡花火を、様々な色を使い世界中のすべての人々が平和に過ごせるようにという願いを込めて描きました。長岡市の小国和紙を日本画の絵の具で染めて、その上に版画で花火が浮かぶ夜空を黒で刷りました。長岡花火に込められた平和への祈りが今の世界中に届くようにと思いながら制作しました。

作者 長岡造形大学 大学院 南雲 まき様

■ 輝け!高校生プログラム

昨年に引き続き、原信が協賛する長岡市国際交流協会様主催「原信 presents 輝け!高校生プログラム～Youが明日のグローバルリスト～」を開催しました。

SDGsを通じて世界と長岡の課題を学び、違いや共通点に目を向け、自分にできることを考えていただく機会を提供しました。



輝け!高校生プログラム

■ 米百俵未来塾

原信では、次代を担う長岡の子どもたちが長岡の誇りを胸に、自らの力で未来を切り拓き、創り出すための学びの場である「米百俵未来塾」に協賛しています。小学生と中学生が学年や学校の垣根を越え、多様な分野について学ぶことを応援しています。

■ 公益財団法人 長岡社奨学会

原信では、新潟県教育振興や県民福祉増進への寄与を事業目的とする長岡社奨学会の運営を支援しています。

学資貸与または給付のほか、地域の文化・教育・スポーツ・国際交流などへの資金援助も行っています。

長岡社奨学会



<https://www.harashinnarus.jp/nagaokasya/>

■ 河井継之助の想い御膳

原信では、7月下旬より期間限定で長岡名物「醤油赤飯」や原信ナルス名物「手作りおぼろ」などが入った「河井継之助の想い御膳」を長岡市内の店舗で販売しました。

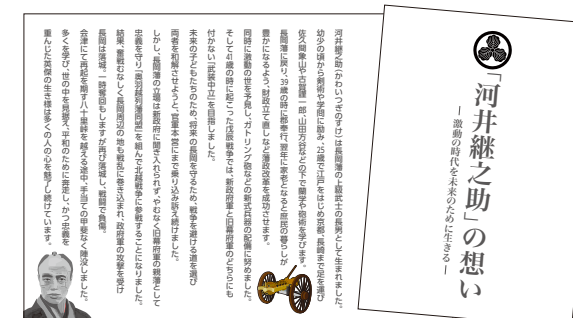
平和のために奔走し、忠義を重んじた河井継之助の生き様そのものをより多くの方に知ってもらいたいという河井継之助記念館様の想いに賛同し、地域貢献の観点から、売上金の一部25万円を長岡市観光企画課を通じて、河井継之助記念館様に寄付しました。



売上金の一部を長岡市を通じて、河井継之助記念館様へ寄付



河井継之助の想い御膳と添付したしおり





男女ともに家庭と仕事のバランスを

ジェンダー平等を実現しよう

男女ともに働きやすく、休みやすい職場環境の整備を推進しています。また、お客様には手間をかけずにバランスのよい食事がとれる即食性の高い商品、時短・簡便商品の品揃えを充実させることで、ご家庭での家事負担を減らすことに取り組んでいます。

■育児介護休業制度

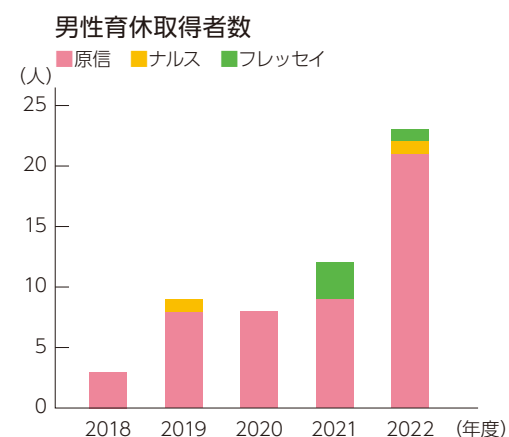
原信とナルスでは、従業員向けに「出産・育児休業制度説明会」を開催することで、同制度の取得を促進しています。制度説明の他に、育児休業を経て復帰した社員による体験談発表を行っています。出産時の体験や復帰後の仕事・育児両立のコツなど、経験者だからこそ話せる内容が毎回好評です。

■男性の育児休業制度取得

男性の育児休業制度取得を促進しています。

休業取得者はそれぞれ取得の期間やタイミングも異なりますが、「初めての出産、子育てに不安が多いので、夫婦で協力して赤ちゃんを迎えたい」「復帰する妻が仕事に専念できるよう、サポートしたい」と、かけがえのない時間をご家族と過ごしています。

従業員の育児経験は、お店づくり、商品づくりなどにも反映されます。



家庭と仕事の両立

育児休業取得することで、子どもが驚く速さで成長していくこと、妻が日々心労していることを改めて実感することができました。家庭を大切にしていこうという想いもより強くなり、仕事へのモチベーションに繋がりました。

育休が全てではなく、育休後のワークライフバランスを見直すきっかけにもなり、家庭と仕事の両立を常に考えて行動するようになりました。

アクシアル リテイリング株式会社
建築設備部 建築設備担当 遠藤 智也

子どもの成長、日々実感

育児休業取得のきっかけは、日々の子どもの成長を実感したかったためです。妻から「〇〇ができるようになったよ!」と聞く度に、嬉しさと共に、その場に立ち会いたかったという思いが強くなり、1歳直前の1か月間だけ取得を決めました。

乳幼児の成長はとても早く、1度しかない子どもの「できるようになった!」に立ち会うことができ、1日1日を大切に過ごすことができました。同時に、初めての子育てに不安も多かったのですが、夫婦で2人で育児休業を取得することで、お互いを支え合うことができました。

原信 黒崎店 水産部門 チーフ 熊倉 辰広



くるみんマーク

■くるみん認定

ナルスでは2013年に、原信では2017年に子育てサポート企業として、くるみん認定を受けました。子育てと仕事を両立しながら、従業員が働きやすくその能力を十分に発揮できる職場環境を整備するために取り組んでいます。

■「ハッピー・パートナー企業」への登録

新潟県では、家庭生活と仕事が両立できるよう職場環境を整え、女性労働者の育成・登用などに積極的に取り組む企業を「ハッピー・パートナー企業」として認定しています。原信とナルスではこの「ハッピー・パートナー企業」に登録し、男女がともに働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。



■「群馬いきいきGカンパニー」認証取得

群馬県では、育児・介護と仕事の両立、職場における女性の活躍推進、従業員のワーク・ライフ・バランスの推進などに取り組む企業を「群馬いきいきカンパニー」として認証しています。フレッセイでは、特に優れた取り組みを行なう企業に与えられるゴールド認証を取得し、すべての従業員が働きやすい環境づくりを推進しています。

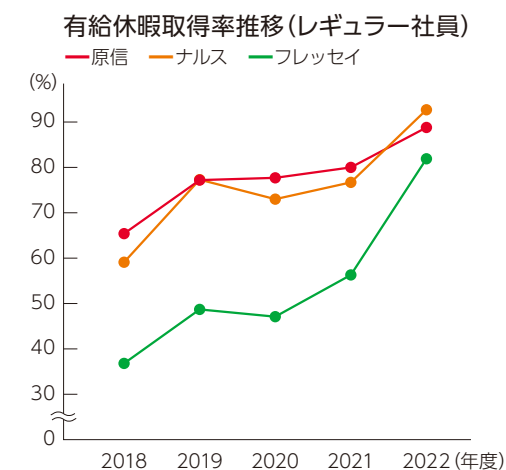


■有給休暇取得推進の取り組み

社内定例会議の開催頻度見直し、人員不足時の店舗への応援体制構築など、有給休暇の取得しやすい環境の整備に取り組んでいます。

原信とナルスでは、2018年10月より「半日有給休暇制度」を導入しました。個人の状況にあわせて1日・半日と選択することで、さらに有給休暇を取得しやすくなりました。

フレッセイでは、連休・有休取得のパターンを増やし、年に4回、3連休以上の取得と合わせて計画的な有給休暇が取得できるようになりました。これからも有給休暇を取得しやすい環境づくりに向けて取り組んでまいります。



■簡便・即食商品の拡大

調理時間が短縮できる商品ニーズの高まりを受け、あらかじめカットされた野菜、フライパン1つで調理ができる商品、電子レンジで調理できる商品の取り扱いを拡大しています。



カット野菜



PalっとDELI



ちゃんとKANTANシーフード



ダイバーシティの推進

私たちは、多様な価値観を有する幅広い人材を確保し、その能力を最大限発揮してもらうことで、イノベーションを創出し、価値創造につなげるダイバーシティ（従業員の多様性）を推進しています。

■女性の活躍

従業員の7割以上が女性であるため、作業環境や機器を整えることで、性別の違いによる「できる」「できない」仕事がないように配慮しています。女性ならではの気づきは商品の販売や売り場づくりで大きな強みです。

多くの人との出会いが宝物

入社後、加食・住居部門に配属となり部門チーフ、店次長を経験し昨年店長に着任しました。

地域のことを一番知っているパートナーさんとのコミュニケーションを大切に、お客様にご支持いただける店づくりにやりがいを感じています。これまで11店舗で勤務しましたが、多くの人との出会いが宝物です。

原信 塩沢店 店長 佐藤 沙也加



従業員に一番距離が近い店長を目指して

入社後に初めて着任した店舗の副店長が女性でした。一緒に働く仲間から『女性の副店長がいるから、このお店は働きやすいんだよ』との声を聞いて、「いつかは自分も!」と思いました。その後にレジ部門チーフ、副店長を経て、本部のFES室、労務管理室を経験してから店長に着任しました。従業員に一番距離が近い店長を目指し、従業員の意見を大切に地域のお客様に支持されるお店づくりに励んでいます。

フレッセイ 亀原店 店長 石川 展代



■アシスタントチーフ制度

アシスタントチーフは、パートナー社員の中から店舗の必要性に応じて会社から任用されている1日6時間勤務のチーフです。

お客様のために、お店のために

仕事の質を高めたいと思い、自己育成に取り組んでまいりましたが、習得した技術技能を自分だけでなく共に働くメンバーに伝える事が、多くのお客様のため、お店のためになると思い、アシスタントチーフを目指しました。

以前よりも責任ある仕事を任せてもらえることが自分のやりがいとなって、充実しております。

原信 七日町店 FES部門 刑部 夕起子



周囲の方々に支えられて

入社して2年が経った頃、周囲の方からの後押しもあってアシスタントチーフを目指すことを決意しました。知識や経験を付ける中で、更なるレベルアップを目指し、これからもお客様に喜んでいただける接客、私たち従業員が作業しやすい環境づくりを目指していきたいと思っています。

フレッセイ 榛東新井店 FES部門 茂田 道代



■シニアの活躍

原信とナルスでは、嘱託社員、パートナー社員の定年後再雇用の限度年齢を70歳に引き上げ、健康で働き続けられるように環境を整えています。また、アルバイトの再雇用限度年齢を75歳とし、働く意欲のある方が活躍できる場となっています。

■パートナー社員からレギュラー社員に

パートナー社員から契約区分変更試験に合格することで、レギュラー社員へ区分変更する制度があります。

レギュラー社員として更なるチャレンジ

最初は一般アルバイトとして入社し、約1年後にパートナー社員として28年間働き、アシスタントチーフを経験しました。

レギュラー社員を目指したのは、もっと色んなことにチャレンジしたいと思い、仕事仲間や上司、そして何より家族の後押しがあったからです。年齢的にも遅いくらいのチャレンジでしたが、部門のみんなをサポートする機会が増え大変なこともあります。充実した日々を過ごしています。

原信 関原店 FES部門 和田 恵美



■外国籍社員の活躍

国籍や出身地、性別に関係なく、その人の能力や人柄で採否を決定し、人材の多様性につなげています。

入社のきっかけ

入社前にサービス業のアルバイトを経験し、自分が持っているスキルが活かせると思い入社しました。

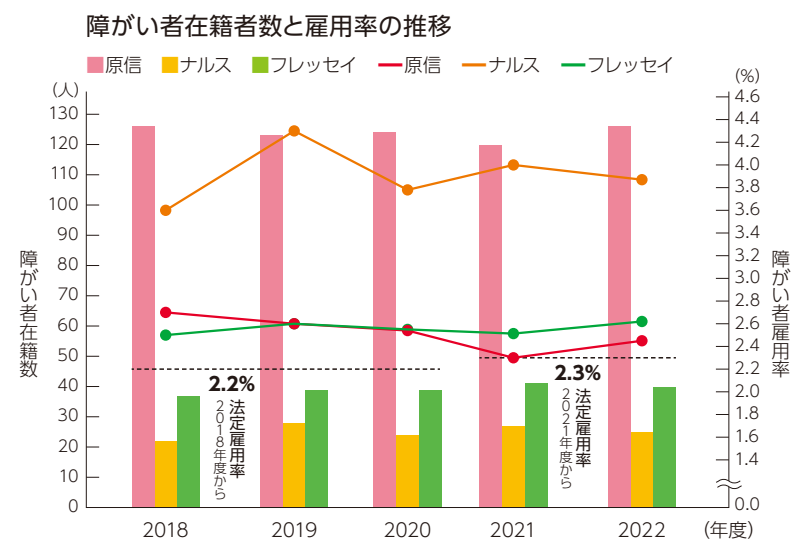
学生時代は様々な国籍の方と勉学を共にし、その国の文化や多種多様な考え方を学びました。この経験を活かし、向上心を持って会社に貢献できるよう努めます。

原信 シビックコア店 青果部門 尹 洪葉



■障がい者雇用

アクシアル リテイリングでは、就業を通じて社会参加し、自立した生活を送ることができるよう、就業・生活支援センター様と連携しながら、安心して長く働き続けられる職場づくりに取り組んでいます。高等支援学校様との実習や長期的な育成支援を通じて、入社につながった方も多くいます。障がい者雇用率は全事業会社において法定雇用率を満たしています。



ナルス障がい者雇用

ナルスは地域のスーパーマーケットとして、各店舗で障がい者1名以上を採用できるよう取り組み、13年連続法定雇用率を達成しました。職場だけでなく就労支援機関と関わりながら、障がい者の職場定着につなげている事業所として、独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構様より表彰されました。



ナルス障がい者雇用表彰式



現場改善のしくみ、地方産品を広める

■TQM(総合的品質管理)

私たちはTQM(Total Quality Management：総合的品質管理)を経営の根幹に据え、生産性、働きがいのある職場環境を整え、お客様満足の実現と現場の継続的な改善を続けています。

■2022年度 TQM活動での表彰

TQMの継続的実施が、外部機関より評価され、以下の賞を受賞しました。今後もお客様ご満足実現のため、取り組みを続けてまいります。

原信桜町店 ベーカリー部門「さくらんぼ」サークル QCサークル 石川馨賞奨励賞受賞

テーマ「たっぷり4種のチーズパンの製造不良個数を削減しよう」

2022年5月に、QCサークル石川馨賞授賞式が北海道で開催され、「石川馨賞奨励賞」を受賞しました。当グループで6回目の受賞となります。



「さくらんぼ」サークル

フレッセイ片貝店 ベーカリー部門「うさぎのおやつ」サークル 群馬県知事賞受賞

テーマ「ピザのできばえ評価向上」

2022年11月に「第6417回QCサークル群馬地区チャンピオン大会」がオンラインで開催され、最高賞である「群馬県知事賞」を受賞しました。フレッセイで3回目の群馬県知事賞受賞となります。



「うさぎのおやつ」サークル

■「成功事例」「改善事例バンク」

売場づくりを工夫し成果のあった「成功事例」、作業をより安全で、より効率よく行なえるように改善した「改善事例バンク」は、独自のシステムを用い全店舗に共有しています。共有することで好事例を特定の店舗のノウハウではなく、全店に水平展開することができます。

原信とナルスでは月に1回、改善事例推進委員会を開催し、全店に水平展開する事例、実験実証する事例を評価し、マニュアルの改訂などにつなげています。

■地域の文化を守り伝える～小国饅頭～

地域の文化・産品の販売を通じて、地域の経済成長につながる取り組みをしています。長岡市小国地区で100年以上和菓子を製造販売してきた山理屋菓子舗様の看板商品で受賞歴もあるおいしいお饅頭「小国饅頭」。そのおいしさを引き継ぎたいとお願いし、製法を伝授していただきました。おいしいものは人を笑顔にする。山理屋様のご主人様の想いとともに小国饅頭継承の物語を動画にし、ホームページに掲載しています。



「つなぐ」小国饅頭物語
こちらからご覧いただけます。



よりお買い物しやすいお店に

私たちは、地域の食生活を担う企業として、女性、子供、高齢者、障がい者などすべての人々が快適にお買い物ができ、日々の生活に豊かさ、楽しさ、便利さを提供できるスーパーマーケットを目指します。またその地域にお住まいの方にとって、より安全により安心して暮らせる街になるよう支援しています。

■1円玉募金活動

フレッセイでは1986年から店舗に募金箱を設置し、お客様からお預かりした寄付金を浄銭として地域社会への福祉につなげています。2022年度は災害時にトイレを設置したトレーラーを全国に派遣するトイレネットワークプロジェクトへ117万円を寄付いたしました。また、埼玉県社会福祉協議会様を通じて、深谷市、本庄市へ災害時用の非常用バッテリーとソーラーパネルを、群馬県社会福祉協議会様へ車椅子46台を寄贈いたしました。



トイレトレーラー



本庄市への災害用バッテリー寄贈



群馬県社会福祉協議会へ車椅子寄贈

■おとしよりぐるりんタクシー・ あいのりタクシー

フレッセイでは群馬県高崎市が行なう「おとしよりぐるりんタクシー」、渋川市が行う「あいのりタクシー」の取り組みに賛同し、高崎市1店舗、渋川市2店舗においてタクシーの乗降場所を提供しています。

高齢者や障がいをお持ちの方の移動手段の確保を目的として、高崎市、渋川市がそれぞれ行なっている取り組みで、運行ルート上であればどこでも乗り降り自由となっています。

■思いやり駐車場への共感看板設置

アクシアル リテイリングでは、店舗で思いやり駐車場を設置していますが、フレッセイと原信の一部店舗では、店舗の思いやり駐車場に「共感看板」を設置しています。共感看板とは、実際に車いすや杖を利用されている方の写真やメッセージを入れて作られた看板です。共感看板の設置により、健常者のマナー違反駐車を抑止に一定の効果が得られました。



共感看板

■「企業版ふるさと納税」を活用した寄付

地方創生応援税制「企業版ふるさと納税」を活用して、地域を担う人材を育成する事業や次世代のまちづくり・地域の活性化に寄与する事業への寄付を行い、地域の発展に貢献しています。

原信では新潟県燕市に対し令和6年オープンを目指す燕市全天候型子供遊戯施設整備事業に活用するために100万円を寄付しました。

フレッセイでは群馬県伊勢崎市に対し小中学校の体育館照明LED化等に活用するために100万円を寄付しました。



燕市への寄付



伊勢崎市への寄付



お買い物をより便利に楽しく

私たちは、日々進歩する様々な技術を活用することで、お客様の利便性と従業員の生産性を飛躍的に向上させ、ライフスタイルや働き方への変化に対応できるよう取り組んでいます。

■ フレッセイネットスーパー

フレッセイでは、2022年12月にネットスーパーを開設しました。フレッセイアプリやパソコンからフレッセイ店舗の商品をお買物できるサービスです。鮮度、美味しさそのまま、生鮮品から日用品まで群馬県内全域へお届けします。配送料がお得な「翌日お届け」、欲しい商品がその日に届く「当日お届け」を選択いただけます。お買物に行けない方のご利用はもちろん、お買物できない方へ商品をお送りいただくことも可能です。



群馬県全域対応

朝10時までのご注文で、群馬県内どこへでも当日配送が可能です。



最短当日配送でお届け

当日10時までのご注文で、その日に配達。お届け時間帯は2時間枠で選択できます。



おトクな翌日配送

「翌日お届け」なら、おトクな送料100円引き。
※前日13時までのご注文。

フレッセイネットスーパー



<https://fressay-netsuper.axial-r.com>

■ 原信ネットスーパー

アプリやパソコンから、最短当日10時までのご注文でその日のうちにご家庭までお店の商品をお届けします。配達エリアは新潟県内全域（離島を除く）で宅急便を使ってお届けします。「重たいものやかさばるものを自宅まで運ぶのが難しい」「忙しくてスーパーに行く時間がない」「病気や怪我で外出ができない」といったときに便利な宅配サービスです。



午前10時までに注文

※新潟市内は13時まで受付。
※原信ネットスーパーPROは前日11時までのご注文で翌日配達。



原信店舗で担当者が商品をご準備



その日のうちにお届け

原信ネットスーパー



<https://harashin-net.axial-r.com>

■ UberEats

店舗から約30分でお届けするクイックコマース（即配）への対応として、新潟市の人口密集地に位置する原信南万代店で2022年11月よりUberEatsの対応を開始いたしました。時間の節約に対するニーズが高く、多くのお客様からご利用いただいています。

2023年5月より、新たに原信五十嵐東店・錦町店・黒埼店・美沢店で開始し、5店舗に拡大しました。



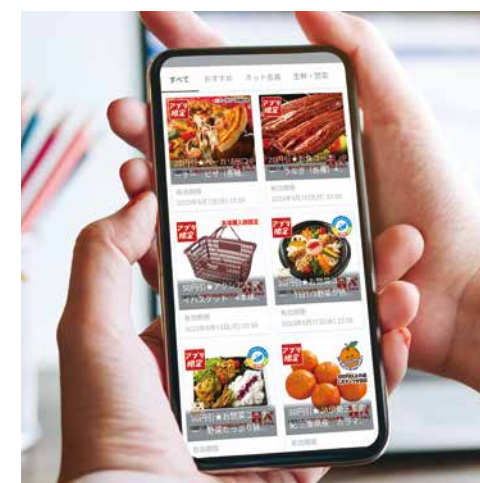
■ 原信ナルスアプリ

チラシやオリジナルレシピの閲覧、商品の予約や原信ネットスーパーの利用、お買い得クーポンを簡単な操作で利用できるアプリです。スマートフォンを活用したお客様のお買い物が、より便利で楽しくなる機能や企画の提案、情報発信を行っています。

原信ナルスアプリやパソコンからパーティメニュー、ケーキ、恵方巻などの店頭受取品のご予約や産地直送ギフトの発送が簡単にできます。

ギフト発送は夏と冬の期間限定の商品に加え、1年間を通してご利用いただける新潟の名産品や原信ナルス限定商品を掲載しています。特に、地域特産のフルーツはご好評をいただいています。

オードブルやクリスマスケーキ等、ご自宅で予約した商品を店舗で受け取るネットオーダーのご予約も年々増加しています。



アプリのダウンロード

android & iPhone ▶



■ フレッセイアプリ

お得なクーポン、チラシの閲覧に加え、「マイフレッセイ」に登録することでおすすめ商品情報の確認、アンケート・投稿実施、オリジナルキャンペーンへの参加等ができます。ネットショップでの注文がお手軽にできるほか、2022年12月からスタートしたネットスーパーに簡単にアクセスでき、自宅、会社、外出先からでもスマートフォンで手軽にお買い物ができます。



アプリのダウンロード

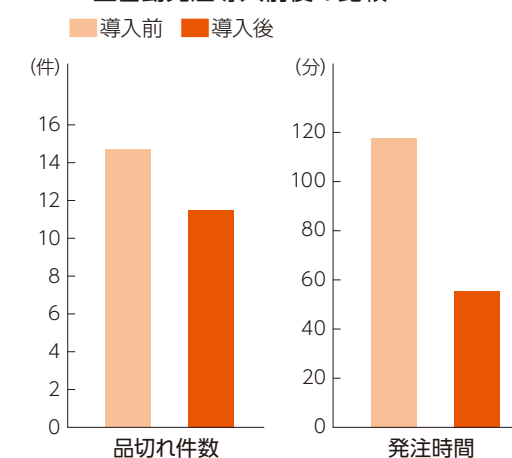
◀ android iPhone ▶



■ AI型自動発注

原信とナルスでは、生産性向上を目的に、2021年からデイリー部門の一部にAIを活用した自動発注システムを導入しています。導入前と比較し、発注時間が約55%に減少し、品切れや値下げ、廃棄も減少しています。同時にシステムの内製化も進めており、2022年2月からは、アクシアル リテイリンググループのIT企業であるアイテックが開発したAI型自動発注システムに移行しました。従来の加工食品部門に加え生鮮部門も自動発注化を進めており、実験運用を経て、2022年1月から全店の青果・精肉部門の一部に導入しました。フレッセイも同様に2022年5月からアイテックのシステムに移行しています。

AI型自動発注導入前後の比較





エネルギーを効率的に、クリーンに

私たちは、物流をはじめとしたエネルギーのムダをなくし、石油資源に依存しないエネルギーへの転換をすすめています。

■太陽光パネルの拡大

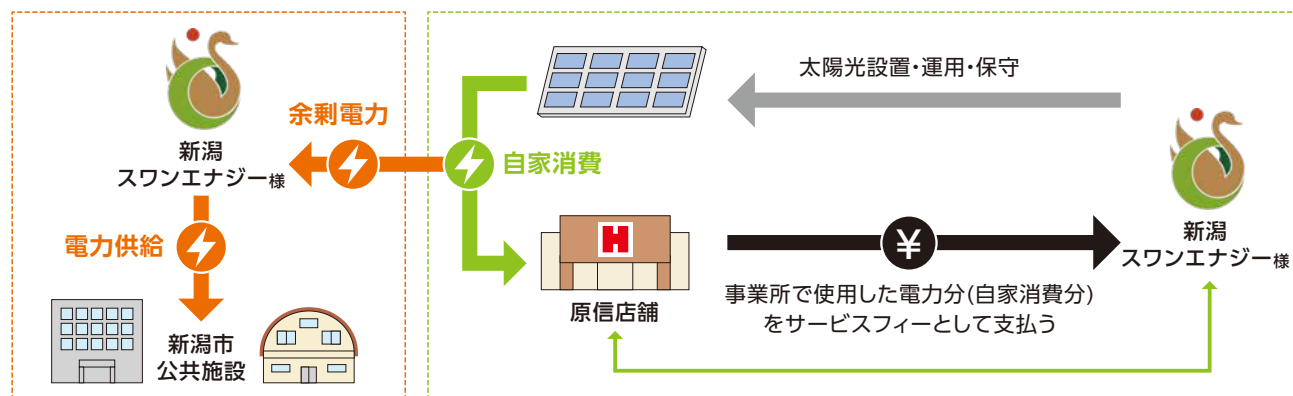
店舗の屋根に太陽光発電を設置し、使用電力の一部を自家発電しています。現在原信で長野県内4店舗、新潟県内12店舗、合計16店舗、フレッシュでは22店舗で運用しており、電力使用量の約15%は太陽光発電を利用しています。

このうち新潟市を中心とした6店舗については、新潟スワンエナジー株式会社様との太陽光PPA（電力販売契約）モデル事業となり、2023年春から稼働開始しました。今後も設置店舗を順次拡大予定です。



店舗の屋根に設置した太陽光パネル

太陽光PPA（電力販売契約）モデル事業



■物流の効率化、調達物流

新潟県と群馬県に物流センターを配置し物流を効率化することで、環境に配慮するとともに、お客様に安定的に、よりお求めやすい価格で商品を安定的に提供することに努めています。また商品加工センターでは店舗の生鮮商品の製造を集約することで、製造プロセスの効率化を進めています。

店舗に商品を配送したトラックがその店舗近隣のお取引先様の工場に向かい、お取引先様の商品を積み込み当社チルドセンターに戻る取り組みを推進することで、物流網全体での燃料削減にも努めています。2022年度は燃料の削減量が地球約50周分の走行距離になりました。

■宅配便ロッカー

アクシアル リテイリングの一部店舗店頭に宅配便ロッカーを設置しています。受け取り先として宅配便ロッカーをご指定いただくことで、お客様が便利に受け取ることができ、再配達や配達ドライバー不足などの社会的課題の解決に貢献いただくことが可能です。



設置店舗はこちらから

◀原信・ナルス

フレッシュ▶



Amazon Hub



PUDOステーション



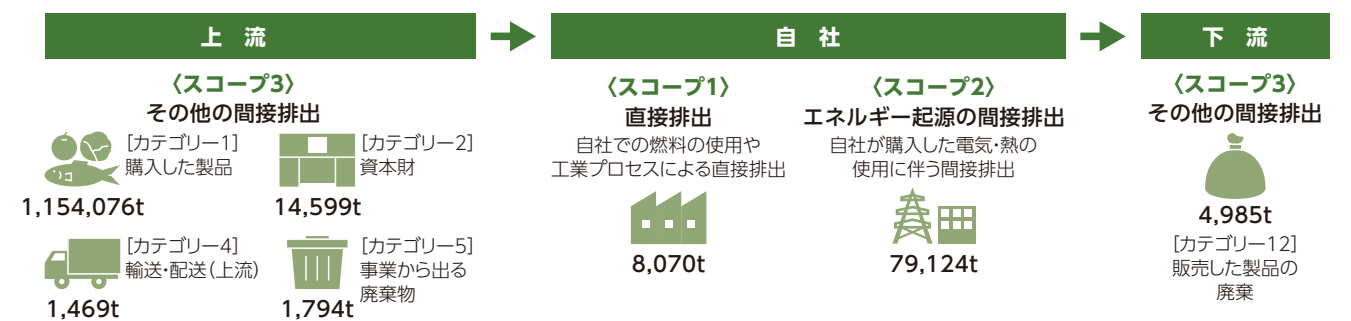
気温上昇を抑える

気候変動は、食料の生産供給にも大きな影響を及ぼすため、小売業にとっては大きなリスクです。私たちは高効率機器の導入や再生可能エネルギーの活用などを通じて事業活動に伴って排出されるCO₂を削減し、地球温暖化の抑制に取り組んでいます。

■サプライチェーンの排出量

サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減に向け原信、ナルス、フレッシュにおけるスコープ3の算出をいたしました。なお、今期は経営上の指標としての活用を目的に算定範囲を決定、排出量を把握しました。今後は範囲を拡大し、サプライチェーン全体でのCO₂排出量削減に取り組んでまいります。

サプライチェーン全体でのCO₂排出量



詳細

	分 類	一 例	構成比
スコープ1	直接排出	都市ガス・LPG使用、フロンの漏えい	0.6%
スコープ2	エネルギー起源の間接排出	電力の使用	5.5%
スコープ3	その他の間接排出		93.9%
	[カテゴリー 1] 購入した製品・サービス	原材料の調達	80.2%
	[カテゴリー 2] 資本財	新店・改装店への投資	1.0%
	[カテゴリー 3] スコープ1, 2に含まれない燃料及びエネルギー活動	今回は算出しておりません	—
	[カテゴリー 4] 輸送、配送(上流)	店舗に直納される商品の配送	0.1%
	[カテゴリー 5] 事業から出る廃棄物	廃棄物の処理	0.1%
	[カテゴリー 6] 出張	出張旅費金額	0.01%
	[カテゴリー 7] 雇用者の通勤	通勤費支給金額	0.2%
	[カテゴリー 8] リース資産(上流)	今回は算出しておりません	—
	[カテゴリー 9] 輸送、配送(下流)	お客様のご来店に関わる排出	11.9%
	[カテゴリー11] 販売した製品の使用	今回は算出しておりません	—
	[カテゴリー12] 販売した製品の廃棄	販売した商品の廃棄	0.3%

※参考資料

- ・「サプライチェーンを通じた温室効果ガス排出量の算定方法基本ガイドラインに関する業種別解説（小売業）Ver1.0」日本チェーンストア協会、日本百貨店協会、社団法人日本フランチャイズチェーン協会
- ・「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位について（Ver.3.2）」環境省
- ・「サプライチェーンを通じた組織の温室効果ガス排出等の算定のための排出原単位データベース（Ver.3.2）」環境省

■グリーン冷媒ショーケース

オゾン層を破壊する気体として特定フロンが規制され、新たな冷媒として代替フロンが普及しました。しかし、代替フロンは高い温室効果を有することから、大気中に放出された場合、地球温暖化に影響を及ぼすといわれています。アクシアル リテイリングでは、冷媒の漏えいを管理するとともに、ショーケースにも温暖化への影響が少ないグリーン冷媒を使用したものを導入しています。2022年度は48店舗に拡大しました。



グリーン冷媒ショーケース

ムダなプラスチックを減らす

海洋環境の悪化が、世界的な問題になっています。

私たちはそれらの中でも特に注目されているプラスチック素材の適正利用に取り組んでいます。

■ワンウェイプラスチックの削減

プラスチック資源循環促進法施行に伴い、2022年4月より商品を召し上げる
ときにご利用いただくプラスチック製スプーンを有料化させていただきました。
これはライフスタイルを見直し、プラスチックの使い過ぎを抑制することが目的
です。さらにバイオマスプラスチック（植物由来のプラスチック）を含んだ素材に
することで、よりプラスチック資源の更なる削減に努めています。2022年度は、
前年よりスプーン、フォーク、ストローのワンウェイプラスチックの使用量を約
72%削減することができました。



■レジ袋の3R

アクシアル マイバスケッ、フレッセイ マイバスケッなどのご利用による「リデュース！レジ袋」。
一度お使いいただいたレジ袋をもう一度お使いいただく「リユース！レジ袋」。不要になったレジ袋やポリ袋
を店頭で回収しリサイクルをする「リサイクル！

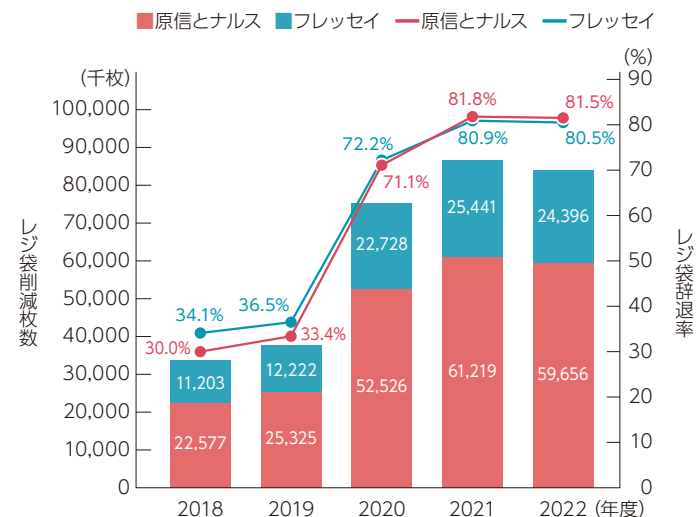
レジ袋」を通じてレジ袋の削減に努めています。

リサイクルしたレジ袋は、原信やナルスの環
境活動を紹介した「環境ボード」などに生まれ変
わっています。



環境ボード(店頭で回収したレジ袋で作成)

レジ袋削減枚数とレジ袋辞退率推移



リデュース

繰り返し使える
アクシアル・フレッセイ
マイバスケッでお買い物



リユース

レジ袋の再利用
他社のレジ袋もOK!



リサイクル

レジ袋の店頭回収
ポリ袋もOK!



■スカスカ商品撲滅

「スカスカ撲滅」運動とは、中身に比べて容器包装材の体積が大きい商品に
ついて、ムダな容器包装を減らそうという運動です。シジシージャパン様が
推進しており、アクシアル リテイリングでもこの運動に共感し、容器包材の
見直しを進めています。

2022年度はアクシアルプライベートブランド商品の「焼きそば」「塩焼き
そば」「3玉うどん」「上級あらびきポークインナー」「特級あらびきポークウ
インナー」の巾着包装をやめ、容器包装材を年間約2t削減いたしました。

今後も容器包装材の見直しをすすめ、資源とゴミの削減、さらには配送効
率の向上につなげてまいります。

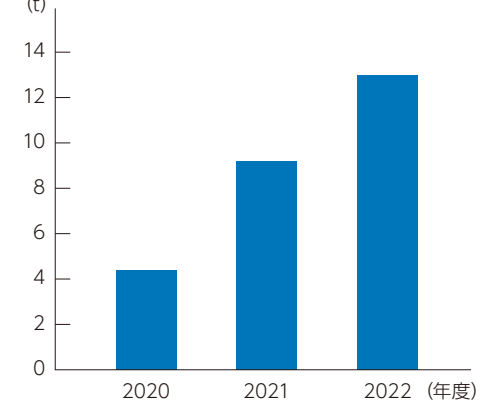


■アクシアルPB商品のプラスチック使用量削減

プラスチック資源の使用量削減することを目的に、2022年
度はアクシアルPB商品「茶飲料2Lペットボトル（緑茶、麦茶、
烏龍茶）」において、ペットボトル容器の重さを従来より約
19%軽量化し、プラスチック原料使用を年間約9t削減しま
した。

また、アクシアルPB商品「バイオマス手提げ袋」をバイオマ
スプラスチック25%配合した素材に変更し、プラスチック資
源使用量を年間約100kg削減しました。

アクシアルPB商品のプラスチック削減量



豊かな森林資源を未来へ

私たちは、豊かな森林資源を次世代に引き継ぐため、適切に管理された森林資源の利用を進めます。

■森林資源の保全を考えた商品開発

アクシアルPB商品の中には、森林資源を利用した商品もあります。多くのお客様よりご利用いただいでい
る「キッチンタオル」「ティッシュペーパー」はFSC認証のパルプを利用しています。

FSC認証は、森林の生物多様性を守り、地域社会や先
住民族、労働者の権利を守りながら適切に生産された製
品を消費者に届けるためのマークです。

また「竹の割り箸」は、生育の早い竹を使用し、無理な
伐採を行わず定期的な計画に基づいて管理伐採した竹を
使用しているため、森林資源の保全に役立っています。



キッチンタオル

竹の割り箸



食品ロスを減らす

私たちは、データや技術を活用することで、サプライチェーン全体での食品ロスの削減に取り組んでいます。また食品リサイクル業者様と連携し、食品廃棄物のリサイクル率100%達成に取り組んでいます。

食品廃棄物の発生抑制

データに基づいた商品製造数・発注数の決定、週半ばでの計画の見直し、研修による商品づくりの技術向上などにより、食品廃棄物をできる限り発生させないように努めています。

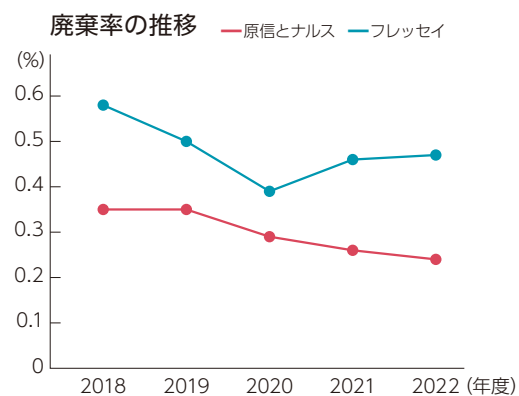
また家族構成や調理用途に応じて必要な量をお買い求めいただけるよう、小分け商品の販売も行い、ご家庭から排出される食品ロス削減につながる取り組みも進めています。



カット野菜

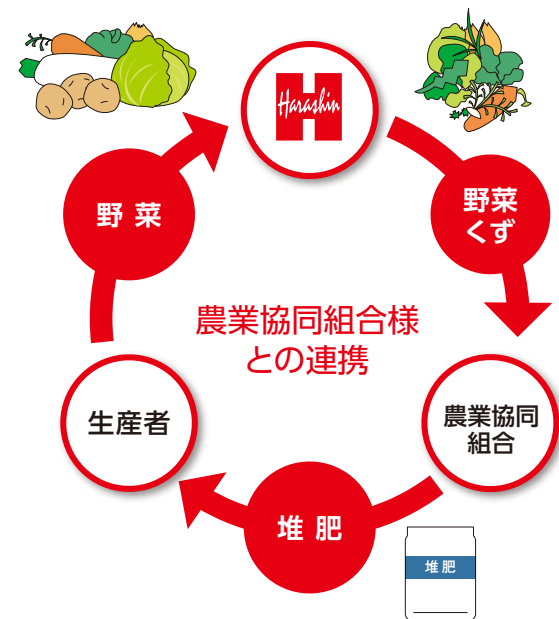


魚菜屋(店内調理品)

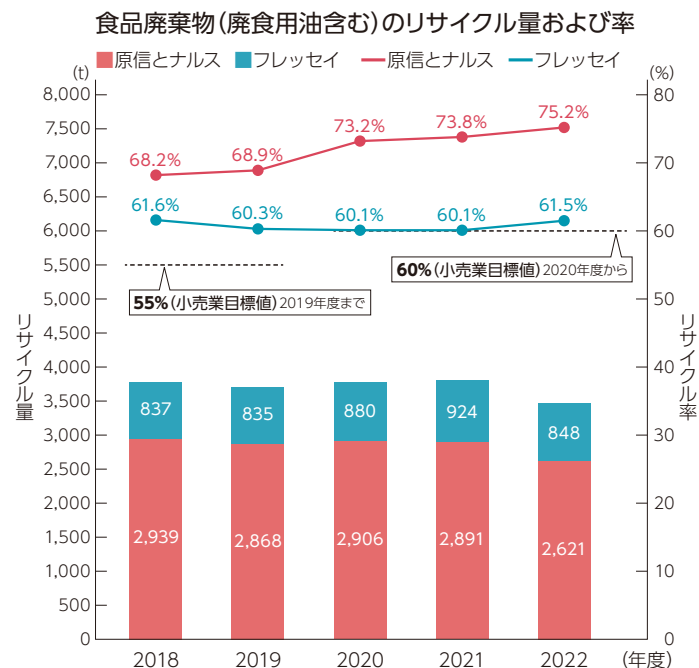


食品廃棄物のリサイクル

食品廃棄物として発生するものの多くは、野菜の外葉や魚のアラなど、販売することに適さない食材です。それらは、各リサイクル業者様の施設で、たい肥や飼料、燃料などの新たな資源に生まれ変わっています。原信、ナルスでは現在73店舗、フレッセイでは23店舗でリサイクルを実施しています。



リサイクルループの一例



環境会計

環境保全活動に対する投資、費用とその効果を把握して、環境保全活動の効率化に努めています。コスト集計及び効果の把握方法は環境省「環境会計ガイドライン2005版」を参考にして作成しました。

環境保全コスト

分 類	主な取り組みの内容	2021年度			2022年度		
		投資額 (千円)	費用額 (千円)	CO ₂ 削減 効果 (t-CO ₂)	投資額 (千円)	費用額 (千円)	CO ₂ 削減 効果 (t-CO ₂)
(1)事業エリア内コスト	—	183,137	473,242	—	166,180	537,300	—
内 訳	(1)ー1公害防止コスト	133,805	111,425	—	135,965	132,554	—
	(1)ー2地球環境保全コスト	49,332	78,905	92	30,215	55,192	275
	(1)ー3資源循環コスト	—	282,912	—	—	349,554	—
	(2)上・下流コスト	—	36,383	—	—	45,669	—
(3)管理活動コスト	ISO審査費用、環境教育、EMS各種勉強会、展示会、新店の緑地など	13,067	29,538	—	12,121	37,807	—
(4)研究開発コスト	—	—	—	—	—	—	—
(5)社会活動コスト	各種組合費など	—	50	—	—	50	—
(6)環境損傷対応コスト	アスベスト除去費用	—	14,500	—	—	27,303	—
合 計	—	196,204	553,713	92	344,481	648,129	275

※対象企業：原信、ナルス

※減価償却費については2000年以降に実施した原信の設備投資について集計しており、ナルスでは集計していません。

環境保全効果

環境保全効果の分類	環境パフォーマンス指標(単位)	2021年度	2022年度
事業活動に投入する資源に関する環境保全効果	電力使用量(MWh)	183,497	182,734
	ガス使用量(千m ³)	357	371
	重油使用量(kℓ)	44	48
	灯油使用量(kℓ)	261	137
	軽油使用量(kℓ)	3,339	4,203
	水使用量(千m ³)	771	727
	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	94,879	94,869
事業活動から排出する環境負荷及び廃棄物に関する環境保全効果	廃棄物総排出量(t)	24,442	24,685
	廃棄物最終処分量(t)	5,756	6,343
	排水量(千m ³)	771	727
	CO ₂ 排出量(t-CO ₂)	94,879	94,869
事業活動から産出する財・サービスに関する環境保全効果	レジ袋回収量(t)	5	6
	紙/パック回収量(t)	342	342
	発泡トレイ回収量(t)	246	251
	透明容器回収量(t)	557	575
	ペットボトルキャップ回収量(t)	88	94
	ペットボトル回収量(t)	295	305

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

環境保全対策に伴う経済効果

(単位:千円)

	効果の内容	2021年度	2022年度
収 益	リサイクル品売却益	38,554	67,271
	店頭回収品売却益	8,501	9,960
費 用 節 減	店頭回収による容リ法再商品化委託料の節減	21,981	35,884
	ショッピングバッグ持参によるレジ袋費の節減	250,101	242,571
合 計	—	319,137	355,686

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

事業活動と環境影響

※対象企業：原信、ナルス、フレッセイ

インプット

燃料
(石油類)

重油	48kℓ
灯油	137kℓ
軽油	4,203kℓ

(配送車輛、自家発電)

電 気

 **182,734MWh**

電力会社から購入し、
使用した電力の総量

紙 **16t**

本部で使用したコピー用紙、コンピュータ用紙の総量

水 726,508m³

ガス 370,825m³

■プラスチック製ストローの廃止

■原信ミュージアムの開催
(詳細はP34)

■レジ袋をリサイクルした環境活動
紹介ボードの掲示(詳細はP27)

■ センサー付きタイマーで無駄な電気の削減

- 紙パック、発泡トレイ、透明容器、レジ袋、ペットボトルキャップの店頭回収
- 地方自治体からの要請地域ではペットボトルの店頭回収に協力

■段差のないバリアフリー対応 ■身体障がい者補助犬の同伴入店可能
■介助が必要な時のインターフォンの設置

■ 寿司舎利玉の店内製造でプラスチック資材の削減

■揚げ物の油は酸化度をチェックして交換 ■廃食用油は100%リサイクル

■フロン類は100%回収し破壊処理

■ バイオマス含有プラスチック容器 包装を使用した水産珍味

■ 調理後の油をビニールハウスの暖房燃料として栽培したトマト

でないぶんしめじ

■ 車イスの設置

■天井照明の蛍光灯と
スポットライトをLED化

■ 車イス、お子様連れ、妊婦の方専用の駐車場

■ 共感看板の設置(詳細はP22)

■ 太陽光パネルの設置(詳細はP25)

- ごみは地域にあわせて適正処理
- 食品残渣はリサイクル(詳細はP29)

- ノントレーの肉を販売し、容器包装の削減
- 消費期限の長い真空パック商品の販売

■ 過剰な容器包装を削減した菓子類の販売

- ショーケース照明のLED化
- 高さの低いショーケース

■ 詰替商品を販売し、
ゴミとなる容器の削減

■FSC認証の紙を使用したティッシュペーパー
(詳細はP28)

- レジ袋のリユース(詳細はP27)
- バイオマスプラスチックを使用したレジ袋・スプーン(詳細はP27)
- マイバスケットの利用促進(詳細はP27)

■ AEDの設置

- デジタルタコメーターの導入
- アイドリングストップの推進
- DC、チルドセンターからの効率的配送（詳細はP25）

■ 容器包装材を削減したPB商品
(詳細はP28)

■ノンフロン(グリーン冷媒)を使用したショーケースの導入(詳細はP26)

■ 節水バルブ内蔵の便器 ■ 節水自動水栓の手洗い器
■ オストメイト対応のトイレ ■ 授乳室の設置

アウトプット

排水 726,508m³

CO₂ **94,869t**
電気、ガス、燃料の使用に伴って発生した二酸化炭素の総量

産業廃棄物 1,917t
再資源化率 77.7%

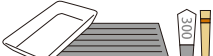
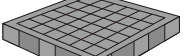
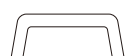
事業活動によって生じた廃棄物のうち「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で定められた廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
廃油	210	210
廃発泡スチロール	385	385
グリーストラップ汚泥	1,174	836
その他産業廃棄物	128	58
合 計	1,917	1,489

一般廃棄物 22,768t
再資源化率 74.0%

紙くず、段ボール、厨芥物など、事業活動によって生じた廃棄物のうち、産業廃棄物を除く廃棄物

	総排出量(t)	リサイクル(t)
生ごみ	4,667	3,148
紙くず	3,946	155
不燃物	605	0
ビン	45	45
段ボール	12,826	12,826
アルミ・スチール缶	222	222
ペットボトル	457	457
合 計	22,768	16,853

発泡トレー  ↓ 断熱材、 発泡トレーなど  回収量 251t CO₂削減量 1.523t-co₂	透明容器  ↓ トレー・建築用・農業用 資材  回収量 575t CO₂削減量 2.219t-co₂	紙パック  ↓ トイレットペーパー  回収量 342t CO₂削減量 169t-co₂	ペットボトルキャップ  ↓ 物流用パレットなど  回収量 94t CO₂削減量 30t-co₂	ペットボトル  ↓ 透明トレーなど  回収量 305t CO₂削減量 1.020t-co₂	レジ袋、ポリ袋  ↓ ゴミ袋、RPF (固形燃料) 杭、環境活動紹介ボード  回収量 6t CO₂削減量 23t-co₂
---	--	---	---	---	--



信頼の構築と平和な社会

私たちは、社会環境の変化に対応し、法令や社会規範を順守し、社会倫理に沿った企業活動を進めることで、ステークホルダーの皆様から信頼をいただけるよう取り組んでいます。また世界では戦争や災害などの状況下にある人が多く存在しています。すべての人々が、平和な社会のもとで生活できるよう、信頼の構築に取り組んでいます。

■ 紺綬褒章受章

2022年12月、アクシアル リテイリングは、ウクライナ難民の支援として行った寄付に対して紺綬褒章を受章しました。紺綬褒章とは、公益のため私財を寄附した功績が顕著であった個人または法人・団体に対し、内閣府より授与される褒章です。

受章に際しては、国連UNHCR協会様がアクシアル本部に来社され、寄付金が入道援助活動に活用されているとの実施報告もいただきました。一刻も早い平和的な解決を祈念しています。



紺綬褒章受章

■ 地域のお祭り協賛

アクシアル リテイリングでは、出店エリアのお祭りに協賛しています。2022年8月には、3年ぶりに長岡まつり大花火大会が開催されました。原信は「慰霊」「復興」「平和」への願いを含め、大会を代表するプログラムである、「正三尺玉3連発」を打ち上げました。



正三尺玉3連発(合成写真)

2022年度 商品売価違い事例

お客様に多大なご迷惑をおかけしたことを心より深くお詫び申し上げます。このような事象が発生することがないように、仕組づくりを徹底してまいります。

- ・カットフルーツ 38店舗 705個
- ・シャキシャキ彩りレタスサラダ 26店舗 5,529個
- ・鯨ベーコン 60g 7店舗 7パック
- ・するめいかそうめん 70g 50店舗 73パック
- ・菜の花 消費税率間違い 31店舗 108個
- ・お惣菜 ごっつお海老フライ 13店舗 23パック
- ・大豆香るしつとりうの花(小) 62店舗 585個
- ・あづま おろしだれ納豆、昆布だれひきわり納豆 50店舗 533個
- ・ボンオーハシ 要冷蔵ケーキ 古正寺店 239個
- ・湖池屋プライドポテト揚げチーズ55g 7店舗 45個
- ・ダイショー お肉屋さんの味噌こしょう、味噌こしょう粗挽き 22店舗 29個
- ・AGF レギュラーコーヒー 56店舗 124個
- ・ハウス ジャワカレー 中辛 9皿 60店舗 170個
- ・ハウス ジャワカレー 辛口 9皿 31店舗 54個

- ・味の素 コンソメ 固形 21P 72店舗 239個
- ・味の素 コンソメ 顆粒 50g 70店舗 277個
- ・味の素 ほんだし 120g 68店舗 173個
- ・味の素 CookDoオイスターソース 200g 47店舗 75個
- ・麒麟 午後の紅茶ストレートティー 500ml 72店舗 217本
- ・麒麟 午後の紅茶ミルクティー 500ml 76店舗 364本
- ・麒麟 午後の紅茶レモンティー 500ml 73店舗 300本
- ・いなば ちゅーるごはんとりささみ 32店舗 68個
- ・いなば ちゅーるごはんとりささみ&ビーフ、緑黄色野菜 30店舗 78個
- ・いなば ちゅーる総合栄養食1歳子猫まぐろ 3店舗 7個
- ・いなば ちゅーる各種4本入 60店舗 239個
- ・はごろも プレミアムねこまんまパウチ本まぐろ入り 25店舗 140個
- ・はごろも プレミアムねこまんまパウチ本まぐろ入り 17店舗 66個
- ・輸入促進販売「木炭3Kg(切断炭)」 46店舗 137個
- ・ライオン リードクッキングペーパー増量 18店舗 31個



原信 荒川店

■ 自然災害への対応

2022年8月3日に発生した新潟県上市荒川地区ならびに関川村における豪雨災害では、原信荒川店が水害に見舞われました。4日未明より緊急対策本部を立ち上げ、翌5日から多くの従業員が復旧作業にあたり、10日の午前9時に営業再開を果たしました。

2022年12月に新潟県を中心に発生した豪雪災害では、物流網のマヒにより、お客様に多大なご迷惑をお掛けいたしました。今回の反省を踏まえ、物流リスクの低減に向け、引き続き対策の検討を進めてまいります。



みんなでゴールを目指そう

SDGsの達成には地域の皆様、地方自治体、企業、NPO・NGOなど様々なステークホルダーとの連携が欠かせません。私たちは社会課題解決に向け、これらの皆様との連携・協力関係を構築しながらSDGs達成に向けて取り組んでいます。

■ 原信ナルス会

2022年10月アオーレ長岡にて、3年ぶりに原信ナルス会を対面で開催し、347社598名のお取引先様からご参加いただきました。

経営報告と最新MD紹介、QCサークル事例発表の後、情報交換会が開催されました。また開催できなかった3年間の原信ナルスグループの取り組みの上映を行いました。



原信ナルス会

■ 備災

災害時に最低限の必要な備蓄商品や常備用品の提案と、日常生活の中で消費しながら買い足すサイクルの提案を行っています。

■ 災害協定

フレッセイでは、本年度新たに埼玉県深谷市と「災害時における物資供給に関する協定」を締結し、自治体との災害協定締結数は13となりました。原信とナルスでは、新潟県と富山県内の9市と災害協定を締結しています。



災害協定締結の県・市

■ フレッセイ共栄会

2022年5月高崎市Gメッセ群馬にて、2年ぶりにフレッセイ共栄会を対面で開催し、278社520名のお取引様からご参加いただきました。

フレッセイ共栄会は幹事会・総会・分科会で構成され、方針発表をはじめ、従業員が取り組んだTQM活動の事例発表、担当バイヤーによる部門方針発表が行われました。



フレッセイ共栄会

■ 原信ミュージアム

原信では「まちごと美術館CotoCoto」様と協働し、障がいのある人のアート作品をカフェコーナーで展示する「原信ミュージアム」を開催しています。(新潟市・長岡市・柏崎市・新発田市・南魚沼市・燕市に計11店舗)



原信 吉田店

サステナブル・リテイリング表彰

アクシアル リテイリングでは、ダイヤモンド・リテイルメディア様主催の「サステナブル・リテイリング表彰」において、第1回総合賞を受賞いたしました。「だし香る」シリーズなどの健康に配慮した商品開発や働きやすい職場環境の整備など、さまざまな切り口で取り組みを行っている点が評価されました。



表彰記念の盾